

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本書は、GR710の設置から運用までの流れを示しています。

セットアップの流れ

1. 事前準備 / 設置場所の確保
2. 梱包物 / 添付品 / 構成品を確認する
3. 各部の名称を確認する
4. 設置
5. 各機器とのケーブル接続
6. セットアップ
7. 運用開始

1 事前準備 / 設置場所の確保

準備する

事前に以下のものを準備および確認してください。

- ・ IPアドレス取得「本装置用、保守端末（FST）用」 / サブネットマスクの確認
- ・ 電源コンセント数の確認（1装置あたり最大2個必要）
- ・ 工具
- ・ PC端末、LANクロスケーブル
- ・ 管理端末、HUB、LANストレートケーブル

重要

本装置に添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。

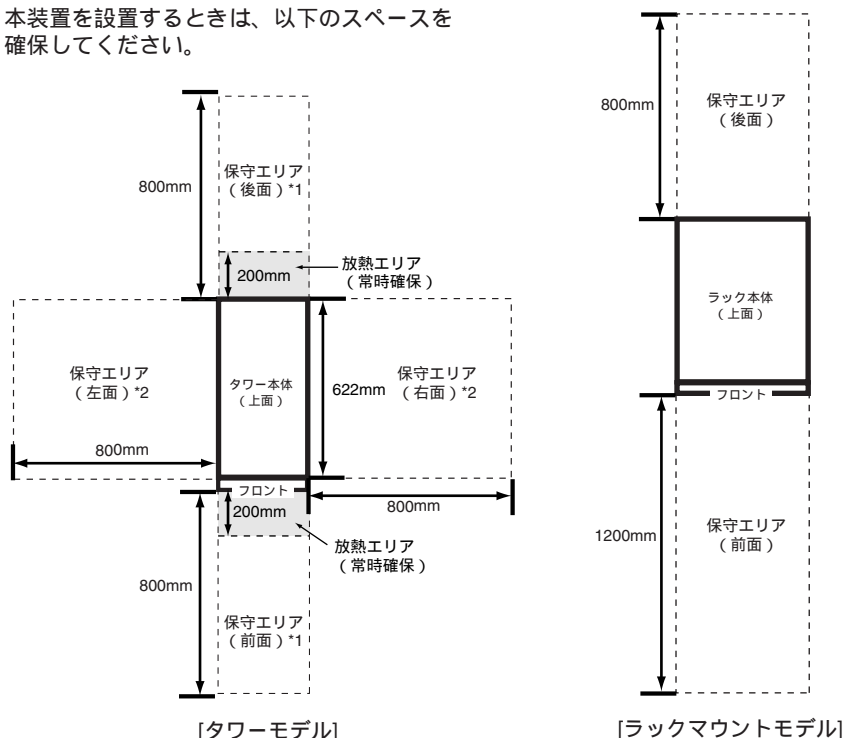
- 「GR710取扱説明書」
- 「GRmgrユーザガイド」
- 「GRmgrインストールガイド」
- 「マルチパス制御ユーザズガイド」
(Windows, Windows NT, Windows 2000 Server系の場合)
- 「ハードディスクドライブHDDVユーザガイド」 (Solaris Server系の場合)

設置場所を確保する

取扱説明書 >>>> 「3.2 設置」

設置スペース

本装置を設置するときは、以下のスペースを確保してください。



設置環境



本装置は、以下の環境条件を守った上で運用してください。環境条件を外れた設置環境での運用は、本装置の故障や寿命を著しく短縮する原因となります。

- 温度 (10 ~ 35)
- 湿度 (20 ~ 80%)
- 塵埃 (オフィス環境0.15mg/m³)

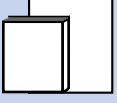
*1) 前面 / 後面は、保守時に装置を移動させてこの寸法が確保できればよく、通常は200mm (放熱エリア) でもかまいません。

*2) 左面 / 右面は、保守時に装置を移動させてこの寸法が確保できるようにしてください。

2 梱包物 / 添付品 / 構成品を確認する

本装置のマニュアル

- 取扱説明書
- セットアップガイド(本書)
- お客様登録用紙



設置時に必要なもの

- フロントカバーキー (2個)

増設オプション取り付け時に必要なもの

- リストストラップ

[RCI電源連動機構 (オプション) に添付]

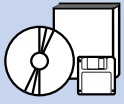
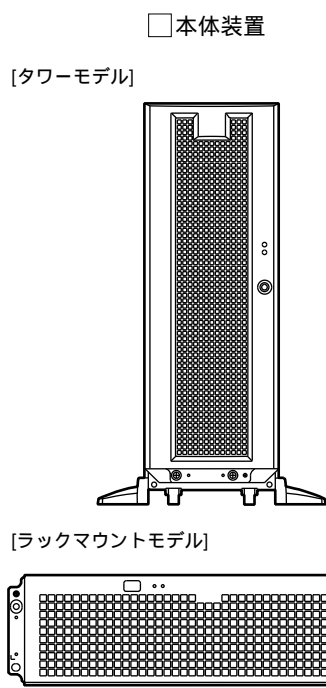
- RCIケーブル (1本)
- RCI分岐コネクタ (1個)

[冗長電源ユニット (オプション) に添付]

- 電源コード (1本 冗長電源ユニット用)

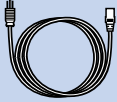
各種ユーティリティ設定 / 確認時、およびOSと必須ソフトウェアのインストールに必要なもの

- GRmgr
- ハードディスクドライバ HDDV
- マルチパスディスク制御 for Windows NT/Windows 2000

周辺機器接続時に必要なもの

- ファイバチャネルケーブルまたはSCSIケーブル (1本)
- LANケーブル (1本)
- 電源ケーブル (1本 本体装置用)



本装置 (タワーモデル) の設置時に必要なもの (タワーモデルのみ)

- クランプ (2個)
- 3ミリ径ネジ (2個 クランプ用)
- 転倒防止足 (4個)
- 4ミリ径ネジ (8個 転倒防止足用)
- キャスターホルダー (2個)

本装置 (ラックマウントモデル) の設置時に必要なもの (ラックマウントモデルのみ)

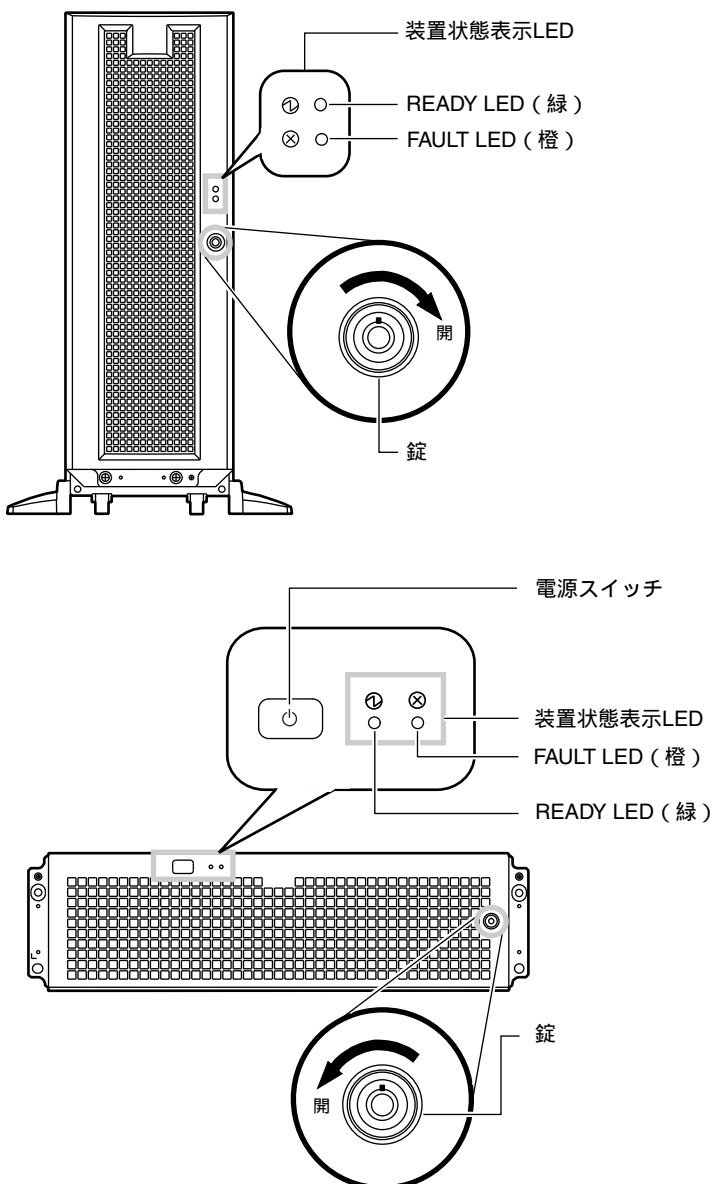
- ナイロンバンド (2個)
- ブラケット (1式)
- 6ミリ径ネジ (12個 ラック搭載用)
- ホルダー (8個 ラック搭載用)
- 3ミリ径ネジ (2個 ラック搭載用)

取扱説明書 >>>> 「3.1 梱包物」

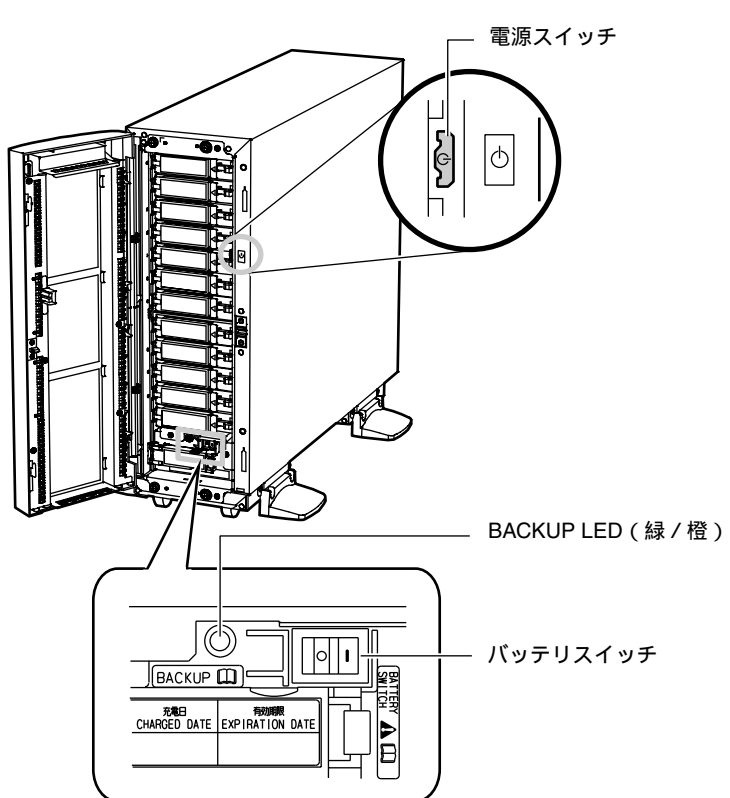
3 各部の名称を確認する

取扱説明書 >>>> 「2.1 各部の名称と働き」

本装置前面



本装置内部



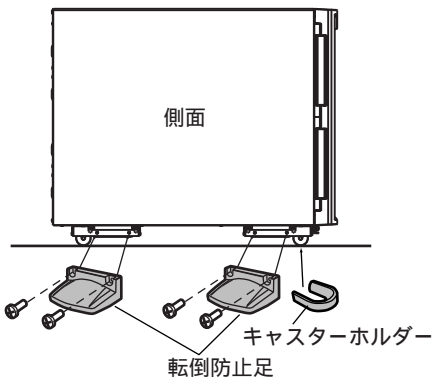
注) バッテリースイッチには、保護カバーが付いています。図は保護カバーを開けた状態です。

4 設置

装置の設置

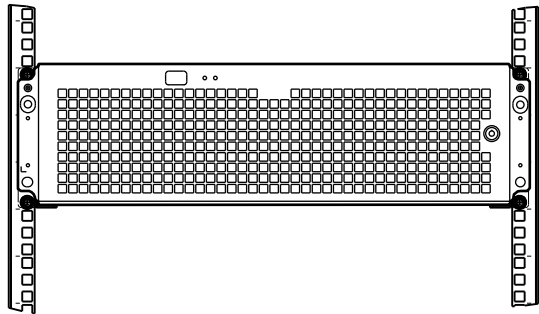
取扱説明書 >>>> 「安全上の注意事項」

- タワーモデル
本装置を設置後、転倒防止足を取り付けます。
その後、キャスターホルダーを使い、本装置を固定してください。



取扱説明書 >>>> 「3.2.3 装置の固定」

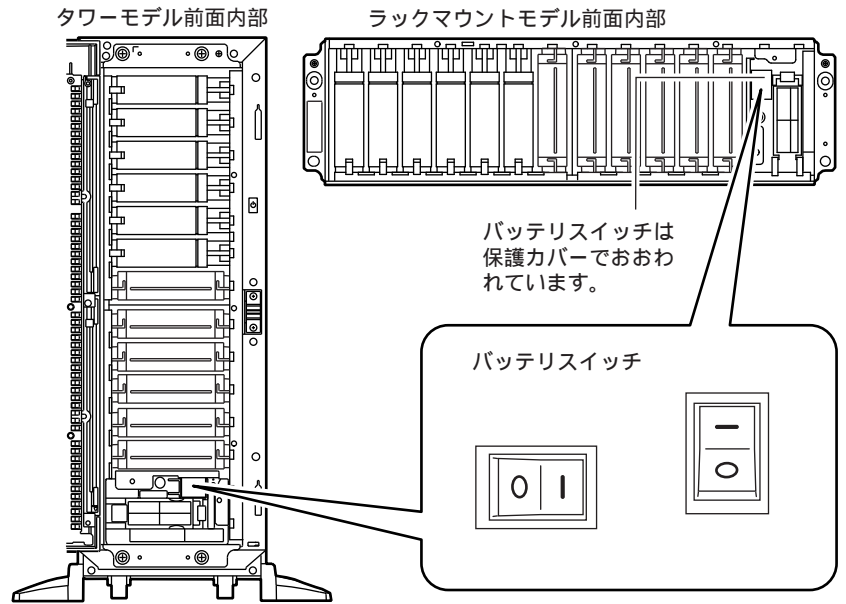
- ラックマウントモデル
本装置は、ラックに搭載して設置します。



取扱説明書 >>>> 「3.2.4 装置のラックへの搭載手順」

バッテリースイッチの設定

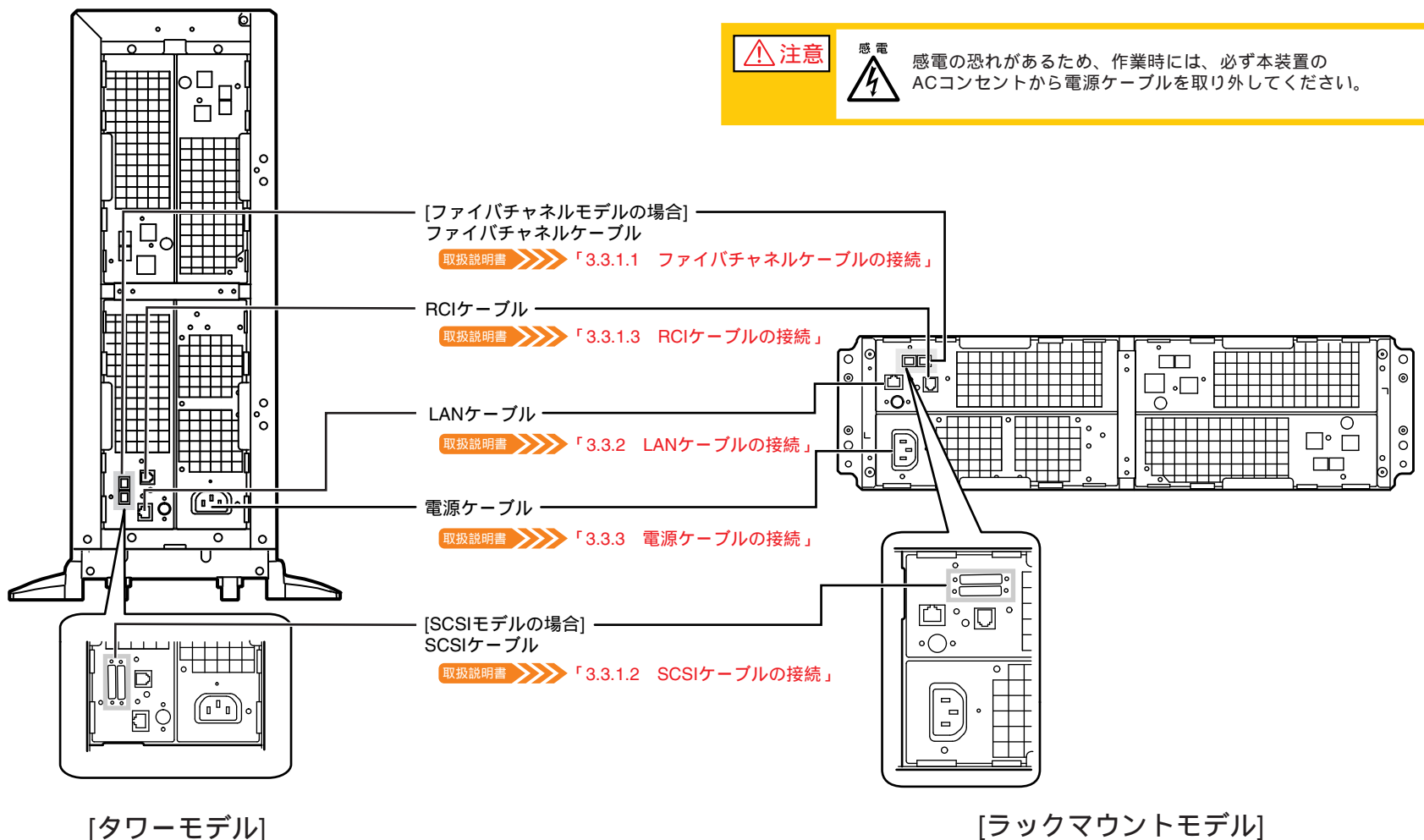
フロントカバーを開き、バッテリーユニットのバッテリースイッチをON (| 側) に設定します。
バッテリースイッチは保護カバーで覆われています。
バッテリースイッチを操作するときは保護カバーを開いて操作を行ってください。



取扱説明書 >>>> 「3.2.5 バッテリースイッチの設定」

5 各機器とのケーブル接続

ファイバチャネルケーブル、SCSI ケーブル、LAN ケーブル、RCI ケーブル (オプション)、電源ケーブルなどを本装置に接続します。
なお、LAN ケーブルおよびRCI ケーブルの接続は本装置のセットアップ終了後に行ってください。



[タワーモデル]

[ラックマウントモデル]

6 セットアップ

取扱説明書 >>> 「第5章 セットアップ」

(1) PC端末を接続してネットワーク設定 / 接続を行う

電源投入後、ネットワーク設定、PC 端末接続、構成確認などを行います。

- IPアドレス / サブネットマスクをNetwork Settingシールに記入
- 本装置の電源投入
- PC端末の設定および接続
- IPアドレス / サブネットマスクの設定
- 本装置の電源切断

(2) GRmgrのインストール / セットアップ / 構成確認

装置 - ハブ間のLANケーブルの接続を行い、管理端末を接続して運用環境にします。

- 管理端末の接続
- GRmgrのインストールとセットアップ
- 構成確認 / 状態表示

その他 >>> 「GRmgrインストールガイド」

その他 >>> 「GRmgrユーザガイド」

(3) 電源連動制御の設定

電源連動制御の設定を行います。

- RCIアドレスの設定 : RCI電源制御を行う場合

(4) 動作確認 / リモートサポート設定

サーバとの接続のためのユーザ環境設定を行います。

- 構成定義 / 環境設定など
- リモートサポートの環境設定

(5) 構成定義 / 環境設定 / その他 初期設定

システム管理者 (お客様) 設定分の初期設定を行います。

その他 >>> 「GRmgrインストールガイド」

その他 >>> 「GRmgrユーザガイド」

7 運用開始

これでセットアップが終了しました。